

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

目次

院長あいさつ	1
新任医師紹介	2、3
地域医療連携係から	3
外来診療担当医表	4

院長あいさつ



院長
青山 香喜

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっております。日本でもあらゆる業界が大変な状況に陥ってしまいました。緊急事態宣言解除後に感染者が増加し外出、営業の自粛、stay home、3密の回避の政策が進められています。夏になれば新型コロナウイルスは絶えるだろうとの予測もありましたが、5-6月の強い紫外線も平年より長い梅雨にも記録的な猛暑も新型コロナウイルスを絶やすことはできませんでした。皆様におかれましても感染対策に人的・経済的・精神的に大変なご苦勞をされていることと思います。当院も自治体病院ではありますが対策に苦慮しているところです。

当院は感染症指定病院でもあり、2月にクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に入港を受けて保健所の指導の下、帰国者・接触者に対応してきました。当初は内科系の医師・事務職・看護師を中心として対応してきましたが、感染者の増加に伴い外科系の医師の協力も得てチームを編成一丸となって対応しています。また6月からは来院者の体温確認のため病院のホールに瞬時に体温を測定できる「サーマルカメラ」を設置し発熱者を識別して発熱外来での診察を行う体制を整備しました。その外にも院内感染対策委員会や新型コロナウイルス対策ワーキングなどで様々なことを検討し実行してきました。しかしながら潜伏期で無症状の感染者でも他人への感染性があると言われているウイルスですので完璧に防御することは不可能に近いでしょうが、最新の知見・検査デバイスを駆使してしっかりと対応していきたいと思っています。With コロナの時代を見据えて今後危惧されるのが救急医療体制の維持とインフルエンザと新型コロナウイルスの同時期での流行です。救急医療体制の維持には地域の医療機関との連携を密にして全力で取り組みたいと思っておりますが、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行期には個々の医療機関だけでは対策は不可能に近く、県・地域での対策が必要かと思われまます。国の施策を注視しつつできる限りの体制の整備をする必要があります。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中だからこそ地域の先生方との連携が不可欠です。今後も地域医療の充実に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

新任医師紹介

外科医長 松岡 弘泰 (まつおか ひろやす)



前任の宮澤正久先生より、今後の引き継ぎとして呼吸器外科に赴任いたしました。山梨大学医学部がまだ山梨医科大学であった頃に、同医学部医学科を卒業し、山梨大学附属病院第2外科、立川総合病院、国立病院機構災害医療センターで勤務しておりました。これまでの経験を活かし、十分に安全に配慮しつつ、胸腔鏡や小開胸手術による低侵襲な手術治療を積極的に行っていきたいと考えております。また、手術のみならず、患者様の治療方針の決定や化学療法、支持的治療など様々な面におきまして、患者様と十分に対話し、一人一人に寄り添った医療を実現できるよう努めて参ります。前任が築いてきた医療体制・質を損なうことのないよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科医長 鈴木 和博 (すずき かずひろ)

麻酔科に赴任いたしました鈴木和博と申します。

静岡県出身で山梨大学を卒業後、山梨大学医学部附属病院、山梨県立中央病院、静岡県立こども病院で勤務してきました。

患者様が安全で快適な周術期を過ごせるよう尽力していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



歯科口腔外科 医師 中里 桂一郎 (なかざと けいいちろう)



埼玉県川口市出身の中里と申します。日本歯科大学卒業・臨床研修修了後に東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野に入局致しました。博士課程修了後、同大学歯学部付属病院口腔外科外来、堀ノ内病院（埼玉県新座市）歯科口腔外科を経て6月より当院歯科口腔外科に赴任致しました。当科では歯と歯周組織疾患、嚢胞、腫瘍、顎関節症、外傷、感染症、粘膜疾患などの一般口腔外科疾患から顎変形症の治療を専門に扱っております。病巣範囲・治療内容によっては入院下に手術を行います。しかしながら口腔内はエアロゾル発生の危険性が極めて高いため、昨今の新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴い手術制限せざるを得なくなりました。そこで厚生労働省の委託事業である「検体採取に伴う教育研修」を修了し、現在では入院症例全例に対してPCR検査を行っております。地域の皆さんの健康に少しでも貢献できるよう、心掛けて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科 医師 古性 航 (こしょう わたる)

2020年7月より耳鼻咽喉科に赴任いたしました古性航と申します。「こしょう」と読みます。

出身地は神奈川県で、山梨大学医学部を卒業後、同大学附属病院にて2年間の初期研修を経て、山梨大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局致しました。卒後4年目、入局後2年目となります。

少しでも患者様のお力になれるよう尽力して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。





泌尿器科に赴任いたしました古屋良太と申します。山梨大学医学部を卒業後、国立国際医療研究センター国府台病院で初期研修を修了致しました。その後、山梨大学医学部附属病院泌尿科に入局し、本年6月まで山梨大学医学部附属病院で勤務しておりました。研鑽を積んでいる最中ではありますが、丁寧な診療を心掛け患者様の医療に貢献できるよう精進していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携係から

紹介患者電話予約・FAX予約
をご利用ください。



昨年度から、紹介患者さんが直接電話予約できるシステムを導入しています。また、従来のFAX予約もあわせて御利用いただけます。患者さんの待ち時間が短縮されますので、ぜひ御利用ください。紹介患者電話予約用紙、FAX診療予約申込書、などの説明を含めたお届け、送付をいたしますので地域医療支援室へ御連絡ください。

- ※ 整形外科については予約をおとりしていません、整形外科に関するお問い合わせは直接整形外科外来へご連絡をお願いいたします。
- ※ 放射線診断科、治療科については、FAX予約のみとなっています。ご了承ください。

お問い合わせ 市立甲府病院 055-244-1111 (代表)